



MFJ SUPERBIKE
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2008 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP Rd.3
SUPERBIKE RACE in KYUSHU



2008年 MFJ全日本ロードレース選手権第3戦 スーパーバイクレース in 九州

EXTRA, EXPERT AND EXTREME EXPRESS

2008 VOL.

3



Photo by H.Wakita/Y.Harada(c)

ドライでもウェットでも何でも来い! 韋駄天・秋吉耕佑が今季2度目のポールポジション!!



伊藤真一 (#33 KEIHINKoharaR.T.) がセカンドグリッドからスタートする



残るフロントロウは手島雄介 (#48 DREAM HondaRT48) がゲット。

INFORMATION

大会記念公式プログラム

オフィシャルショップで好評発売中!!



大会情報、レース情報が満載の公式プログラム。この予選速報号と一緒に読めば、レース観戦はバッチリ!!

<大会記念>
公式プログラム
1,000円(税込)



TIME TABLE

※プログラムのタイムテーブルから変更されています。また、今後変更されることがあります。

09:45 -	GP-MONO コースイン〜選手紹介	
10:00 -	GP-MONO 決勝レース.....	8Laps
10:40 -	GP125 コースイン〜選手紹介	
10:55 -	GP125 決勝レース.....	14Laps
11:40 -	ST600 コースイン〜選手紹介	
11:55 -	ST600 決勝レース.....	16Laps
12:55 -13:45	ピットウォーク	
14:10 -	JSB1000 コースイン〜選手紹介(セレモニー)	
14:30 -	JSB1000 決勝レース.....	18Laps
15:30 -	GP250 コースイン〜選手紹介	
15:45 -	GP250 決勝レース.....	15Laps
16:40 -	※レース終了後〜サーキットクルージング(2輪体験走行)	

QUALIFYING PRACTICE REPORT

今回も予選で圧倒的な速さを見せた秋吉耕佑 混戦になるか否かは秋吉のペース次第!?



ボールシッターインタビューで。(左から)GP125菊池寛幸、GP250宇井陽一、JSB1000秋吉耕佑、ST600稲垣誠。掲げているのは、大会特別協賛として、全クラスのボールシッターに授与された特別賞、「雁の巣会&POPヨシムラメモリアルアワード」のメダル。



POLE POSITION 秋吉 耕佑 1'58.507

「雨のセットアップが決まったのでGSX-Rのいいところが出せたんじゃないかな。ベストタイムを出したときは雨がちょっと止んできたときにフレッシュタイヤを履いて集中して走った。地元ライダーとしては経験上、決勝は霧が出るような気がする。それさえなければと思うが、あまり不安はない。どういう展開になるか読めないけれど、伊藤さんとのバトルが楽しみ。筑波では中須賀くんに離されてしまったが、今回は主導権を握れると思う」



●予選日: 天候 / 曇り 路面 / ウエット
●決勝レース コースイン / 14:10
スタート / 14:30 (18周)

雄大な阿蘇に位置するオートボリスは景色に負けず劣らずダイナミックなコースレイアウトを持っている。全長4,674mのコースはアップダウンがあり、ホームスレートは902mと長いだけにスリッストリームを使い合いながらの接近戦を見ることができる。勝負ポイントも多く、ライダーのテクニックと駆け引きが見所となる。

金曜日は、ドライコンディションで行われ秋吉耕佑がまたもトップタイムをマーク。自ら持つコースレコード(1分50秒509)を上回る1分50秒173をたたき出した。しかし、秋吉自身は「午後のセッションで車体のセットアップがいい方向にいかなかったのでタイムアップできなかった。決勝がドライだったら(金曜の)午前中のセットに戻して臨むと思う」と、不満が残る状態。とはいえ、実際に記録しているタイムは他を圧倒するもの。アベレージスピード次第では、独走する可能性も高いと言える。金曜日は、大崎誠之、中須賀克行、柳川明、徳留和樹と九州勢が好タイムをマーク。地元でいいレースを見せようと燃えている。



4番グリッド / #21 中須賀 克行 YSP&PRESTOレーシング

土曜日の公式予選は一転しレインコンディションとなった。ウエットになっても秋吉は2番手を0.6秒以上も引き離す圧倒的な速さを見せる。その後、上位12人が進出するスーパーポールが行われるはずだったが、霧と雨の影響で中止となり、公式予選の結果がスターティンググリッドとなった。スーパーポールを見据え「12番手以内につけておけばいいだろう」という思惑のあったライダーにとっては悔しい結果に。悲喜こもごもの予選となった。

「レインのセットがうまくいったので雨が少し弱いときに集中して攻めていくことができた。レースはスタートを決めて、まずスパートして、周りを見て展開を考えようと思っている。今回は主導権を握りますよ」と秋吉は決勝に向けて自信をのぞかせた。

2番手の伊藤は、開幕戦ではファステストラップを記録しながらマシントラブルでリタイヤに始まり、第2戦では不安定なコンディションでの予選に翻弄され、4列目スタートとなってしまふ。しかし、そこからトップより速いペースで追いつき6位となった。着実にニューマシンを仕上げてきており、今回はウエットの予選でも前戦の二の舞は踏まないよう、しっかり2番手に着け、今シーズン初めてフロントロウからスタートする。そして、3番手に前戦でポールポジションを獲得し3位に入った手島雄介がつけた。

4番手には昨年のオートボリスラウンドのウイナーであり、現在2連勝中の中須賀。「確実に去年よりレ



12番グリッド / #87 柳川 明 TEAM GREEN

ベルが上がっている。逃げるのは難しいと思うけれど、地元だし多くの人が期待してくれているのでおもしろいレースを見せたい」と開幕3連勝にしっかりターゲットを絞っている。

スーパーポールでのジャンプアップを狙っていた柳川は「今年のバイクを(ウエットで)うまく走らせることができなかった。12番手以内に入れたいと大事にいったのも裏目に出てしまった。決勝はスタートを決めて一気に前に出ていきたい」とコメント。ドライではストレートで抜群の伸びを見せていた柳川+ZX-10Rがどこまで追いつけるか要チェックだ。

伊藤、手島、山口辰也、酒井大作なども勝利を狙っているだけに秋吉が、どこまでレースをコントロールできるか? 他の九州勢も意地を見せたいところ。トップでチェッカーを受けるライダーは果たして誰だ?!

[佐藤 寿宏]

KOTOBUKI'S
FIVE
稲垣誠の“潔さ”が
ポールポジションを
引き寄せた。

ST600クラスで初めてポールポジションを獲得した稲垣誠(写真)。ほとんどのライダーがレインタイヤでアタックしたが、セッション終盤にドライタイヤに履き替えた稲垣は、まだ水しぶきが上がる中、レコードラインを巧みにトレース。「レインタイヤでトップ10に入れていたので、小園監督にはフロント・レイン、リア・ドライの組み合わせで、と言われたが、好きな組み合わせではなかったのでキッパリ「ドライ!」と言った。アジア選手権

ではレインタイヤを使えないので、その経験が役に立った」と稲垣。

ドライタイヤで勝負した稲垣と東浦正周が1-2。コンディションをうまく読んだ宮崎敦が3番手とフロントロウを獲得。レースはどんな展開が待っているか?!



JSB1000 CLASS STARTING GRID

1 1'58.507 64 秋吉 耕佑 ヨシムラスズキwithJOMO	2 1'59.138 33 伊藤 真一 KEIHINKoharaR.T.	3 1'59.395 48 手島 雄介 DREAM HondaRT48
2 1'59.493 21 中須賀 克行 YSP&PRESTOレーシング	5 1'59.578 19 山口 辰也 モリワキMOTULLレーシング	6 2'00.083 62 横江 竜司 RT森のくまさん佐藤塾
3 2'00.086 5 亀谷 長純 Team 桜井ホンダ	8 2'00.219 75 大崎 誠之 SP忠男レーシングチーム	9 2'00.863 39 酒井 大作 ヨシムラスズキwithデンソー
4 2'00.985 81 佐藤 裕児 ワイズギアレーシング	11 2'01.090 11 徳留 和樹 DREAM HondaRT11	12 2'01.114 87 柳川 明 TEAM GREEN
5 2'02.874 13 波多野 祐樹 MotoMAP SUPPLY	14 2'03.195 18 奥田 貴哉 チームOSG&モトスポーツ	15 2'03.446 45 西嶋 修 BEET LUMIX RACING
6 2'03.564 25 本田 晃司 Z-TECH&マルマエ KMII	17 2'03.853 15 今野 由寛 PLOT FARO パンテラ	18 2'03.961 24 東村 伊佐三 RS-ITOH&KAZE
7 2'04.659 16 津田 一磨 Team 桜井ホンダ	20 2'04.831 26 辻村 猛 F.C.C.TSR	21 2'05.538 704 中村 知雅 中村エンジン研究所
8 2'05.553 999 鈴木 大五郎 ラベレッツアスヒード	23 2'06.357 23 鈴木 慎吾 MOTO WIN RACING	24 2'06.428 54 浜口 俊之 BABIE'S Racing デイライト
9 2'06.650 41 原田 洋孝 R.S.ガレージハラダ姫路	26 2'06.709 44 児玉 勇太 ウイダー-D.D.BOYS	27 2'06.876 55 山下 剛 ファクトリーヒロ&LS.com

小西良輝が優勝に返り咲く

前回5月11日に開催されたシリーズ第2戦・筑波大会のST600決勝レースにおいて、トップでチェッカーを受けた小西良輝が白旗区間における追い越しによって3位に降格となっていました。これに対し、5月13日に控訴が提出されました。5月19日の国内規律裁定委員会が開かれ、白旗該当区間での追い越しは認められず規則違反と判断できないことから、小西が優勝となり、武田雄一は2位、以下の順位を繰り下げる裁定が発表されました。この裁定に伴い、ポイントランキングも下記の通り訂正されました。

※大会記念公式プログラム14ページにあるポイントランキングは、裁定発表前のものです。

■ST600		Pts.	もてぎ	筑波
1	1	小西 良輝	40	20
2	4	野田 弘樹	28	17
3	73	小林 龍太	28	13
4	10	稲垣 誠	21	8
5	5	武田 雄一	20	3
6	2	高橋 英倫	15	15
			0	

GP125 youth CUP に注目しよう!

17歳以下の選手を対象にGP125クラスに設定されている「youthCUP」にエントリーしているライダーが、今シーズンは開幕戦から大健闘。14名のうち、現在8名がポイントを持している。『youthCUP』ランキングトップの日浦大治朗は、緒戦で3位表彰台に上がった。今大会の予選では10番手と、やや出遅れたものの、A.R.T.合同走行では2番手のタイムを叩き出している。決勝での活躍に注目してほしい!



youthCUPランキングでトップ(第2戦終了時点)の日浦大治朗



●予選日:天候/曇り 路面/ウェット
●決勝コースイン/11:40 スタート/11:55(16周)

POLE POSITION INTERVIEW

ドライタイヤで アタックした稲垣誠が ポールポジション!



POLE POSITION 稲垣 誠 2'05.680

『事前テストは1日しか走れず、ドライのセッティングが出せないままレースウイークに入ったが、予選がたまたま雨だった。予選はレインタイヤで走り始めてラインが乾いてきたので5ラップ目くらいにイチカバチかでドライタイヤで出ていったら当たった。ドライにしたのは多分、僕が一番早かったと思う。ここは路面のグリップがいいので、勢いでいっただけ。決勝はうまく走れるか分からないけれどトップ集団でゴールしたい』

ST600 予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	10	稲垣 誠	2'05.680	バーニングブラッドRT
2	20	東浦 正周	2'06.146	DAIICHI&プラスミュー
3	72	宮崎 敦	2'06.788	TEAM DAYTONA GIVI
4	8	寺本 幸司	2'07.097	PLOT FARO パンテラ
5	1	小西 良輝	2'07.253	急募.COM HARC-PRO.
6	70	佐竹 隆幸	2'07.260	チームOSG&モトスポーツ
7	18	高橋 江紀	2'07.363	KEIHINKoharaR.T.
8	21	中山 真太郎	2'07.520	KoharaRC
9	19	大石 正彦	2'07.570	伊藤RACING・GMDスズカ
10	73	小林 龍太	2'07.601	急募.COM HARC-PRO.
11	705	黒川 武彦	2'07.790	松本クリニクガレージスピード
12	34	中島 大輔	2'07.809	アンビシャスレーシングチーム
13	4	野田 弘樹	2'08.086	テルル・ハニービーレーシング
14	77	出口 修	2'08.224	DyDo Miu Racing
15	23	津田 拓也	2'08.366	チームOSG&モトスポーツ
16	54	井上 哲悟	2'08.377	GRACERACINGTEAM
17	33	森田 庄平	2'08.525	RS-ITOH&KAZE
18	42	岡崎 晋也	2'08.573	TeamGTMM ATOMIC
19	29	行方 知基	2'08.647	MOTOMAP SUPPLY
20	83	須貝 義仁	2'08.696	チームドゥカティレーシングジャパン
21	43	生形 秀之	2'08.790	エスバルスドリームレーシング
22	55	国川 浩道	2'09.004	DyDo Miu Racing
23	76	清水 直樹	2'09.029	RS-ITOH&KAZE
24	5	武田 雄一	2'09.057	HITMAN RC甲子園ヤマハ
25	32	須磨 良仁	2'09.517	H.M.F Verity
26	59	荒瀬 貴	2'09.560	ケイファクトリー
27	62	金丸 聖歩	2'09.688	ホンダドリーム北九州・Life
28	64	和田 憲史郎	2'09.806	VEGA&Z-TECH★MKII
29	44	斉藤 一輝	2'09.842	ウィングヨシRC
30	39	新庄 雅浩	2'09.983	MotoMap SUPPLY
31	7	岩田 悟	2'09.997	F.C.C.TSR
32	63	田中 浩哉	2'10.195	Team モト・ボーイ
33	61	村上 雅彦	2'10.296	南海部品広島店ウッドストック
34	13	泉本 真宏	2'10.374	RT森のくまさん佐藤塾
35	82	原田 武人	2'10.442	ZAP.Racing823
36	14	森 新	2'10.545	CLUB HARC-PRO.
37	67	箕野 和大	2'11.006	ホンダドリーム北九州・LIFE
38	60	久原 康弘	2'11.437	UENO R&D BENGAL'S
39	47	村山 茂昇	2'11.766	エスバルスドリームレーンジャー
40	69	渡辺 大輔	2'14.314	OGAWA-RACING!!!
41	49	瀬上 敦	2'15.080	ライダーズKレーシング
42	65	森園 宗宏	2'15.564	ライトサポート.ZAP

POLE POSITION
INTERVIEWベテラン菊さま
今回も巧者ぶりを発揮
2戦連続P.P.

POLE POSITION 菊池 寛幸 2'09.561

『事前テストはドタバタしていて、走行時間がありませんでした。その後、筑波あたりから状態が解明され順調にきている。試すこと、チェックするところがいっぱいあり、金曜日の走行はその確認にあて、予選は事前テストの状態に戻して走った。メカニックもチームも頑張ってくれているので、いい状態になっていると思う。ドライだった金曜日は徳留(真紀)がいいタイムだったから、決勝がドライならおいでいかならないように、雨ならどれだけ安定した走行ができるかがカギだと思う』

POLE POSITION
INTERVIEWドライでもレインでも好調!
チャンプ宇井陽一
完全復活なるか!?

POLE POSITION 宇井 陽一 2'02.756

『先週の金、土とスポーツ走行に参加してセットアップをした。今乗っている車体は筑波のレースウィークにシェイクダウンしたフレームでクセが強かったけれど、今回は方向性も見え、いい感じでウィークに入ることができた。予選は、最初の30分間でセットアップして、残り10分でタイムアタックしようと決めていた。予定通りアタックに出たら、雨がひどくなったが、エンジンの仕様も決まったので、あきらめずに攻めて行ってよかった』

GP250 予選結果

Pos No.	Name	Time	Team
1	41 宇井 陽一	2'02.756	SEV.spruce/PRO-TEC
2	32 関口 太郎	2'03.356	Henkel プラスミュー
3	2 高橋 巧	2'05.031	バーニングブラッドRT
4	56 山崎 郁	2'05.130	HITMAN RC 甲子園ヤマハ
5	3 及川 誠人	2'05.363	WILL-ACCESS&SJR
6	11 渡辺 一樹	2'05.482	RT森のくまさん佐藤
7	5 瀧本 裕基	2'05.531	SP忠男レーシングチーム
8	12 伊藤 勇樹	2'05.968	DOG FIGHT RACING
9	48 富沢 祥也	2'07.747	TeamProjectμFRS
10	46 星野 知也	2'08.304	WINJACK&4413
11	10 及川 玲	2'09.232	ペンタグラム&株嶺岡&M-Racing
12	21 福山 京太	2'09.436	TeamDankeRacing
13	24 水野 那由太	2'10.166	テック2レーシング
14	93 遠藤 卓実	2'10.519	SEV.spruce/PRO-TEC
15	76 柴原 誠	2'12.161	K-max racing+棚RT
16	53 久保山 正朗	2'12.494	HONDA浜友会浜松エスカルゴ
17	77 中尾 健治	2'12.996	レイラスポーツ
18	75 高杉 奈緒子	2'13.324	DREAM高崎B'WISE RT
19	14 中本 都	2'13.436	RT・OUTRUNwithASS
20	78 白木 晶夫	2'15.034	レイラスポーツ

※5月24日(土)の天候不良により、GP-MONOの決勝レース日程が変更されました

POLE POSITION
INTERVIEW路面コンディションを
うまく読んだ
岡田義治がポールをGET!

POLE POSITION 岡田 義治 2'11.429

『事前テストは全然してなくて、金曜日の走行が1年ぶりの走行だった。今年は車体がモリワキのフレームに変わって、エンジンはスキの08モデルを積んでいる。戦闘力は上がっているが、ここはストレートが長いのと、登りの区間が課題なので、まず足回りを決め(ドライの)金曜日は2番手のタイムだった。前回の筑波で、ドライコンディションの中をレインタイヤで走ったことで、バイクの限界が分かった。予選は(セッティングの)ポイントを絞ったことがポールポジション獲得につながった』

GP-MONO 予選結果

Pos No.	Name	Time	Team
1	9 岡田 義治	2'11.429	K&LJAPAN・RH松島
2	3 乃村 康友	2'11.584	モリワキクラブ
3	45 長島 哲太	2'11.760	TeamProjectμFRS
4	26 谷川 壮洋	2'12.287	TEAM PLUS ONE
5	51 藤井 謙汰	2'12.380	F.C.C.TSR
6	11 安村 武志	2'12.408	テック2レーシング
7	111 川野 泰成	2'12.482	IS-P.CC/ブリミティブRT
8	2 中本 亮輔	2'12.575	モリワキクラブ
9	18 比企 徹	2'13.210	DyDo Miu Jr.
10	34 山田 俊樹	2'13.219	バーニングブラッドRT
11	8 山本 晃大	2'13.614	M-KID'S
12	35 矢田 栄一朗	2'14.462	CLUBモトバム
13	21 小畑 仁	2'14.849	MOTO WIN RACING
14	48 根村 拓歩	2'14.864	18 GARAGE RACING TEAM
15	27 岳 栄一	2'15.219	VISIONレーシング
16	52 川村 明	2'15.241	MOTO WIN RACING
17	43 増田 顕也	2'16.009	クラブM+マツダ塾+棚RT
18	54 岩本 有司	2'16.029	HMF・銀色バイク・Kfb
19	40 高木 伸一	2'16.297	Team・Life福岡・城南店
20	16 赤間 清	2'16.356	CLUB HARC-PRO.
21	74 斎藤 幸大	2'16.578	ウイングジョイRC
22	19 丸崎屋 学	2'16.927	IS-P.CC/ブリミティブRT
23	25 楠元 晃一	2'16.978	Garage130R&Jr's
24	56 伊藤 淳	2'17.870	RH松島&MRP
25	71 林 達也	2'18.009	teamA・A・O&MOTOBUM
26	30 山本 恭裕	2'18.357	広島カジャラRacing&LRC
27	38 法月 多嘉夫	2'18.457	M・A・R-S
28	32 宮原 綾	2'19.154	広島カジャラR&クシタニ広島店
29	93 池田 雄二	2'19.822	RSS★SHOWA
30	29 大西 善之	2'20.191	三真製作所&ヤマカゼ大西タイル
31	33 今村 洋介	2'20.395	チームいずみ&Nothing
32	28 丸野 恒	2'20.759	チームいずみ&シャロム
33	24 中村 正秀	2'20.946	ヒガシEng&九州工業大学
34	57 梅林 優勝	2'22.233	TeamLife
35	17 七條 友明	2'22.996	チームいずみ+久留米中央保険
36	20 三好 菜摘	2'23.270	クラブプラスワン&rsp
37	37 小山 隆浩	2'23.505	18 GARAGE RACING TEAM
38	36 佐々木 猛治	2'23.737	チームいずみ モータアクション
39	87 野村 允		RSS★SHOWA